

2025年9月号
令和7年9月18日

漁況情報・浜の話題

神奈川県水産技術センター
企画研究部 046-882-2489
相模湾試験場 0465-23-8531
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mx7/wadai/>



漁況情報

【8月4日】佐島：ワラサ

8月4日、佐島漁港にワラサ(5kg前後のブリの銘柄)が約6トン水揚げされました。



水揚げされたワラサ

浜の話題

【8月3日】小田原：みなとまつり

8月3日、小田原漁港で第32回小田原みなとまつりが開催されました。当日は、新鮮な地魚の販売や魚に直接触れられるタッチプールなど多くの出店や展示があり、大勢の来場者で賑わっていました。

【8月5日】漁業士会：役員会

8月5日、かながわ県民センター(横浜市)で令和7年度第3回漁業士会役員会が開催され、漁業士研修会、漁業者交流大会等の議題について協議しました。

漁業士研修会及び交流懇談会は、10月28日(火)に横浜駅近くのかながわ県民センターホールで開催することが決定しました。漁業士研修会は「県水産技術センター研究発表会」と「漁業経営者のためのセミナー」の2部構成とし、会員に限らず広くご参加を歓迎しますので、どうぞお誘いあわせの上ご参加ください。

【8月7日】二宮：定置網漁業体験

8月7日、水産技術センター相模湾試験場が、大磯二宮漁協の(有)二宮漁場にご協力いただき漁業体験研修を実施しました。海洋科学高校生徒3名と引率教員、7月21日の「漁業就業支援フェア2025」に来場した漁業就業志望の方3名と、日本さかな専門学校教員が参加し、定

置網の網締めから水揚げまでの一連の作業を見学し、漁獲された魚の選別・出荷作業等を体験しました。今回の漁業体験を通じて、今後の漁業就業を前向きに検討する方もいました。



漁業体験研修当日の様子

【8月14日】腰越：サザエ標識放流調査

8月14日、腰越地先で、鎌倉市は腰越漁協の立ち合いの下、標識を施したサザエ種苗を4,000個放流しました。地先海域のいくつかの場所に種苗を放流し、海域の環境がサザエの生育に適しているか調査をしています。



標識を施したサザエ種苗



潜水による種苗放流

【8月19日】長井：トラフグ情報交換会

8月19日、長井町漁協において、(一社)全国ふぐ連盟が情報交換会を開催しました。情報交換会では、下関の地方卸売市場の卸売業者から、昨シーズンの天然トラフグ商戦の概況が紹介され、長井の漁業者が漁獲するトラフグの魚価の低迷について様々な意見が寄せられました。これらを参考に、価格向上に向けた取り組みが期待されます。

お知らせ

【8月1日～10月19日】長井～腰越：アオリイカ禁漁のお願い

長井町漁協、湘南漁協佐島支所・同葉山支所・同鎌倉支所、小坪漁協及び腰越漁協は、すべての釣り人の皆様に対して、8月1日から10月19日まで、同地先におけるアオリイカの釣りの禁漁について、ご理解とご協力をお願いしています。

これらの組合では、アオリイカ漁をこの期間に自主的に禁漁とし、併せて産卵礁の設置等を行い、アオリイカの資源保護に取り組んでいます。

遊漁者・遊漁船の皆様

アオリイカ資源保護 へのご協力を
お願いします

**実施
期間**

8月1日～10月19日

近年、地球温暖化による海水温の上昇に端を発し、アオリイカの産卵に不可欠な、アマモなどの海藻類や、カシメなどの海藻類が消失する、「磯焼け」が全国的な問題となっています。三浦半島近海でのアオリイカ資源が減少傾向にあるため、漁業者では「人工産卵床の設置」の設置や「ウニやアイゴなどの食害生物の駆除」などの漁場保全活動を進めています。さらに、三浦半島西岸3市1町の6か所の漁業協同組合・支所が協働し、下記期間を「**アオリイカの自主禁漁期間**」と決めました。

遊漁船・貸しボート・カヤック・SUP・岸から等、**すべての釣り人の皆様**にも、この期間の禁漁へのご理解とご協力をお願い致します。



実施地域 「長井町漁協」から「腰越漁協」までの「共同漁業権内」
(横須賀市長浜海岸から鎌倉市腰越漁港まで)



長井町漁業協同組合 / 湘南漁業協同組合佐島支所 / 湘南漁業協同組合葉山支所
湘南漁業協同組合鎌倉支所 / 小坪漁業協同組合 / 腰越漁業協同組合

協力お願いのポスター